



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月3日
東

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	117,794	3.7	16,139	14.9	17,376	11.8	11,819	7.7
26年3月期第3四半期	113,562	7.5	14,050	25.9	15,538	34.9	10,969	44.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 15,013百万円(△2.6%) 26年3月期第3四半期 15,419百万円(91.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	73.81	—
26年3月期第3四半期	66.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	203,415	142,183	69.2
26年3月期	207,999	137,822	65.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 140,757百万円 26年3月期 136,552百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	16.00	30.00
27年3月期	—	14.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	16.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	4.5	24,100	8.3	24,800	4.5	17,800	6.6	112.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期3Q	161,000,000株	26年3月期	161,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,286,528株	26年3月期	522,032株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期3Q	160,136,239株	26年3月期3Q	163,741,504株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成27年2月3日(火)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)における国内景気は、物価上昇により個人消費に弱さが見られましたが、米国を中心に輸出が持ち直していることから、緩やかな回復基調となりました。

当社グループの業績につきましては、ディスプレイ材料および半導体材料が好調に推移したことに加え、動物用医薬品原薬フルララネルの伸長などにより、売上高1,177億94百万円(前年同期比42億32百万円増)、営業利益161億39百万円(同20億88百万円増)、四半期純利益118億19百万円(同8億49百万円増)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミンの販売が国内外ともに減少しました。ファインケミカルでは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)の販売は海外での需要拡大や円安の後押しを受けて増加しましたが、「ハイライト」(殺菌消毒剤)は価格競争激化により苦戦しました。

この結果、当部門の売上高は257億52百万円(前年同期比9億53百万円減)、営業利益は10億21百万円(同3億36百万円減)となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、スマートフォンなどの中小型向けを中心に好調を持続しました。また、BARCおよび多層材料は、半導体の微細化進展に伴い需要が拡大しました。「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)は、電子材料用研磨剤向けが前年を上回りました。

この結果、当部門の売上高は372億48百万円(前年同期比55億87百万円増)、営業利益は99億18百万円(同32億56百万円増)となりました。

農業化学品部門

国内に関しては、「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)および「アルテア」(水稲用除草剤)の販売量が増加しました。また、輸出につきましては、とくに、フルララネルを含む製品が欧州および米国で上市されたことにより、大幅な増収となりました。

この結果、当部門の売上高は241億82百万円(前年同期比27億8百万円増)、営業利益は35億33百万円(同19億40百万円増)となりました。

医薬品部門

「リパロ」原薬は、米州およびアジアを中心に海外向けは順調に推移しました。国内向けは後発医薬品の影響により、大幅な減収となりました。一方で、「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、顧客向けの出荷が順調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は70億81百万円(前年同期比23億28百万円減)、営業利益は19億91百万円(同24億60百万円減)となりました。

卸売部門

ディスプレイ材料関連製品および農業化学品製品が伸長し、当部門の売上高は413億93百万円(前年同期比40億83百万円増)、営業利益は13億59百万円(同2億46百万円増)となりました。

その他の部門

当部門の売上高は130億73百万円(前年同期比15億41百万円減)、営業利益は11百万円(同3億30百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比45億84百万円減の2,034億15百万円となりました。

負債合計も有利子負債が減少したことなどから、前連結会計年度末比89億44百万円減の612億31百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比43億60百万円増の1,421億83百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.5ポイント増加し、69.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、235億86百万円の収入(前年同期は236億45百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、研究開発部門などの設備投資を中心に56億51百万円の支出(前年同期は91億46百万円の支出)となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得などにより261億37百万円の支出(前年同期は194億75百万円の支出)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額349百万円を加え、前連結会計年度末に比較して78億52百万円減少し、229億5百万円(前年同期は273億47百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は、前回発表(平成26年11月5日)の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が3億31百万円増加し、利益剰余金が2億13百万円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,757	22,905
受取手形及び売掛金	54,041	43,884
商品及び製品	26,775	32,458
仕掛品	51	943
原材料及び貯蔵品	6,353	9,319
その他	7,457	6,683
貸倒引当金	△22	△26
流動資産合計	125,413	116,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,520	22,705
その他(純額)	25,455	24,983
有形固定資産合計	44,975	47,689
無形固定資産		
のれん	481	6
その他	769	678
無形固定資産合計	1,251	684
投資その他の資産		
投資有価証券	33,570	35,490
その他	3,028	3,575
貸倒引当金	△240	△195
投資その他の資産合計	36,358	38,870
固定資産合計	82,585	87,244
資産合計	207,999	203,415

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,067	21,825
短期借入金	30,645	16,378
未払法人税等	3,512	688
賞与引当金	1,754	568
役員賞与引当金	27	20
その他	7,646	10,278
流動負債合計	59,652	49,759
固定負債		
長期借入金	5,450	4,750
事業構造改善引当金	-	704
退職給付に係る負債	244	205
その他	4,829	5,812
固定負債合計	10,524	11,472
負債合計	70,176	61,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	98,121	105,339
自己株式	△698	△6,700
株主資本合計	129,975	131,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,138	8,187
為替換算調整勘定	20	1,001
退職給付に係る調整累計額	417	375
その他の包括利益累計額合計	6,576	9,564
少数株主持分	1,269	1,425
純資産合計	137,822	142,183
負債純資産合計	207,999	203,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	113,562	117,794
売上原価	71,751	72,565
売上総利益	41,811	45,229
販売費及び一般管理費	27,760	29,090
営業利益	14,050	16,139
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	583	543
為替差益	453	590
持分法による投資利益	772	586
その他	672	484
営業外収益合計	2,497	2,217
営業外費用		
支払利息	215	163
固定資産処分損	177	242
休止損	396	265
その他	219	309
営業外費用合計	1,009	980
経常利益	15,538	17,376
特別利益	-	-
特別損失		
製品補償費用	-	390
事業構造改善費用	-	704
特別損失合計	-	1,095
税金等調整前四半期純利益	15,538	16,281
法人税、住民税及び事業税	3,722	3,880
法人税等調整額	708	463
法人税等合計	4,431	4,343
少数株主損益調整前四半期純利益	11,107	11,937
少数株主利益	137	117
四半期純利益	10,969	11,819

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,107	11,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,264	2,048
為替換算調整勘定	1,048	1,068
退職給付に係る調整額	-	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	4,312	3,075
四半期包括利益	15,419	15,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,192	14,807
少数株主に係る四半期包括利益	227	205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,538	16,281
減価償却費	6,156	6,054
受取利息及び受取配当金	△597	△556
支払利息	215	163
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	-	704
固定資産処分損益(△は益)	177	242
売上債権の増減額(△は増加)	14,180	10,575
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,867	△9,183
仕入債務の増減額(△は減少)	2,041	5,633
その他	△2,189	△76
小計	29,654	29,838
利息及び配当金の受取額	984	616
利息の支払額	△182	△155
法人税等の支払額	△6,810	△6,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,645	23,586
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△914	△1,310
投資有価証券の売却による収入	244	3,077
関係会社株式の取得による支出	△2,749	-
有形固定資産の取得による支出	△5,357	△6,554
有形固定資産の除却による支出	△114	△180
短期貸付金の純増減額(△は増加)	33	△246
その他	△288	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,146	△5,651
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,116	△9,785
長期借入金の返済による支出	△2,690	△5,456
配当金の支払額	△4,584	△4,814
少数株主への配当金の支払額	△48	△50
自己株式の取得による支出	△1	△6,001
その他	△34	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,475	△26,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	444	349
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,531	△7,852
現金及び現金同等物の期首残高	31,878	30,757
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,347	22,905

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成26年11月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を買い受けることを決議し、平成26年12月8日の買付をもちまして終了いたしました。主にこの結果により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が6,001百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は、6,700百万円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,991	27,673	19,495	9,352	30,141	6,908	113,562	—	113,562
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,714	3,987	1,978	56	7,168	7,706	27,613	△27,613	—
計	26,706	31,661	21,474	9,409	37,309	14,614	141,176	△27,613	113,562
セグメント利益 (営業利益)	1,357	6,661	1,592	4,452	1,113	342	15,521	△1,470	14,050

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,470百万円には、セグメント間取引消去△372百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,098百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	18,792	32,961	21,990	7,055	30,973	6,021	117,794	—	117,794
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,960	4,286	2,192	26	10,420	7,051	30,937	△30,937	—
計	25,752	37,248	24,182	7,081	41,393	13,073	148,732	△30,937	117,794
セグメント利益 (営業利益)	1,021	9,918	3,533	1,991	1,359	11	17,837	△1,698	16,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,698百万円には、セグメント間取引消去△242百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,456百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。